

学 校 保 健

平成11年6月1日

No. 227

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
<http://www.hokenkai.or.jp/>

JAPANESE SOCIETY
OF
SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会

会 長 挨 拶

(財)日本学校保健会 会長 矢 野 亨



本年度は役員の改選があり、私が引き続き会長職の大役をお引き受けすることになりました。身の引き締まる思いであります。また、6年間専務理事を勤められた青木宣昭先生が惜しまれつつ退任され、後任にはかつて学校保健の闘士と評されたことのある当会前副会長の本吉鼎三先生が新しく専務理事に就任されました。

ご承知のように、あと1年有余で21世紀を迎えることになりますが、学校保健の領域では、次代を担う子ども達にとって、いくつかの深刻な課題が投げかけられています。日本学校保健会では、文部省及び関係諸団体のご指導、ご支援を得ながらこれらの諸問題への対応について、それぞれ本会内の各種委員会において活動を展開しており、それら委員会の成果は既に数種の図書として、又しおりとして学校現場に無償配布されております。

特に本年度は、文部省から新たな委託として、従来からの喫煙・飲酒・薬物乱用防止指導研究委員会を更に拡大強化して、薬物乱用防止の為のパンフレット作成、教育教材の作成、ホームページの作成等を実施することになっております。薬物乱用の低年齢化という極めて憂うべき実態をうけて、その防止に一段と努力を払わねばなりません。又環境問題のホームページも新たに作成に入りますが、これら一連の活動は、既に活躍している「エイズ情報ネットワーク」と共に、日本学校保健会が目指す文字通り学校保健の情報センターとしての機能の充実に向けて力強い歩みを進めることになります。

皆様方の一層のご理解とご協力をお願い致します。

目 次

会長挨拶	…1
平成11～12年度 (財)日本学校保健会の役員	…2
平成11年度日本学校保健会 事業の概要	…3
平成11年度(財)日本学校保健 会編図書一覧	…6
平成11年度(財)日本学校保健会 しおり一覧	…7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

乞御回覧

校 長 教 頭 保健主事 養護教諭

P
T
A

会 長 副会長

平成11～12年度(財)日本学校保健会の役員

5月27日の評議員会に於て、平成11～12年度の(財)日本学校保健会の役員が下記の通り承認され決定いたしました。

顧 問

渋 谷 敬 三	元文部省体育局長
柳 川 覚 治	元文部省体育局長
関 口 龍 雄	元副会長
山 中 正 一	元副会長
加 藤 増 夫	元副会長
重 田 精 一	元副会長
松 尾 学	元副会長

会 長

矢 野 亨 前会長

副会長

竹 内 輝 博	日本医師会常任理事
若 林 明	大阪府医師会副会長
西連寺 愛 憲	日本学校歯科医会会長
澤 村 良 二	日本学校薬剤師会会長

専務理事

本 吉 鼎 三 前日本学校保健会副会長

理 事 ◎印…常務理事

(加盟団体より)

飯 塚 弘 志	北海道学校保健会会長
師 研 也	宮城県学校保健会会長
◎佐々木 健 雄	東京都学校保健会会長
宮 川 糧 平	新潟県学校保健会会長
渡 邊 史 朗	神奈川県学校保健連合会 常務理事
梅 田 俊 彦	石川県学校保健会会長
◎児 玉 武伊知	三重県学校保健会会長
坂 東 源 司	和歌山県学校保健連合会会長
藤 野 滋	滋賀県学校保健会会長
中 島 雪 夫	島根県学校保健会会長

今 西 一 夫	高知県学校保健会会長
関 原 敬次郎	福岡県学校保健会会長
玉 城 晴 孝	大阪市学校保健会会長
千 田 典 男	仙台市学校保健会会長

(職域より)

◎江 口 篤 壽	学識経験者
高 石 昌 弘	学識経験者
◎内 藤 昭 三	学識経験者
小 坂 孝 二	学校保健研究大会当年度開催県 岐阜県学校保健会会長

佐 野 七 郎	学校医 (眼科)
神 田 敬	学校医 (耳鼻咽喉科)

◎中 田 郁 平	学校歯科医
丸 山 進一郎	学校歯科医
◎杉 下 順一郎	学校薬剤師
永 野 孝 夫	学校薬剤師

朽 葉 元 生 小学校長

◎藤 崎 武 利 中学校長

◎林 眞 示 保健主事

◎林 典 子 養護教諭

松 井 石 根 PTA協議会

監 事

横 山 元 禎	学校医
立 花 義 康	学校歯科医
佐 藤 晴 壽	学校薬剤師

平成11年度日本学校保健会事業の概要

本会は、設立以来、常に次代の国民の健全育成を目的に、学校保健の促進に努力してきた。特に、昭和47年の保健体育審議会の答申で、学校保健センターの設立が建議されて以降は、そこで行われるべき事業が本会に委託されるようになって、本会は会本来の一般事業と学校保健センター事業が併立して行われるようになった。平成9年の保健体育審議会では、本会に学校保健に関する情報センターとしての機能を充実させることが要望されている。

一方、現在、学校保健は解決の方途を求めて様々な課題が提起されている。先の保健体育審議会は保健教育を前面に打出し、これを受けて、また学校の週5日制実施の方向が定ったこともあり、文部省は平成10年来に小・中学校の、そして本年3月には高校の新学習要領が示され、その中で、健康教育は総合的な学習時間を設ける等、一層重視されるに到っている。

この様な状況を背景に、本会の平成11年度事業は次のように計画され、5月26日の評議員会で選出された新役員会の下で実施されることとなっている。その基本方針は昨年11月の評議員会で次の様に決定された。

基本方針

21世紀を目前にして、我が国は、あらゆる領域で変革の重大な時期を迎えております。経済面では高度の成長期から急速に減速の時を迎え、再建の為に懸命の努力が払われております。医療・福祉の領域でも少子高齢社会に対応した抜本的改革が現在論議されております。

こういった不安定で不確実な社会基盤を背景として、子ども達の「こころ」と「からだ」の成長発達にも少なからぬ影響が与えられていると考えられます。特に社会環境と生活様式の変化から来る生活習慣病、O157を含む新たな感染症、性教育を含むエイズ防止、そして薬物乱用、いじめ、保健室登校、不登校、性の逸脱行動、暴力、暴行等々と次々に課題が提案されるに到っております。

この状況に対して、先の保健体育審議会は、WHOのオタワ憲章にうたわれたヘルスプロモーションの理念を念頭においた健康教育を提唱し、中央教育審議会も新たに「幼児期からの心の教育の在り方」について提言を行うと共に、学校教育の中に学校のみならず家庭、地域のそれぞれの持つ役割とその協調の必要性が強く求められております。

日本学校保健会は、設立以来、加盟団体の意見を集約して、常に次代の国民の健全な育成を目的として時宜を得た対策を行って来ました。また、昨年度に引き続き情報化時代に即応した機能の充実にも努力しております。本会は学校保健教育の専門団体として、今ほどその努力も期待されている時はありません。

本年も一般事業を進めると共に、国の委託事業の学校保健センター事業を一層充実させ、学校保健の施策実施の団体として活動を続けていきます。そのため、文部省はじめ関係省庁・諸団体と連携を図っていく所存であります。

なお、本会の財政は、賛助会員制度を導入してその財政基盤の確立に努力していますが、今後拠出金の適正額の賦課を考えなければなりません。傘下団体のご理解とご支援をお願いいたします。

1 一般事業

1. 全国学校保健研究大会を文部省及び日本体育健康センターと共催

11月18日(木)・19日(金) 岐阜市 で愛ドーム 他

2. 全国学校保健協議会を上記開催県学校保健会(岐阜市学校保健会)と共催

11月19日 岐阜市 で愛ドーム

3. 全国学校保健事務担当者連絡会の開催

6月17日(木) 東京都 青少年センター

4. 広報活動

- 1) 会報「学校保健」227号～232号を発行して、各学校、教育委員会及び関係機関に配布する。

- 2) 「学校保健の動向」を発刊する。内容は、新学習指導要領を特集とする外、学校保健関係者が座右において、読みかつ必要事項を検索できる動向を編集する。

5. 学校保健推進事業

- 1) 学校保健に関する情報委員会

平成10年度にスタートした本会のホームページに、エイズ教育ネットワークは勿論、薬物乱用防止教育、学校給食の保健管理の情報も加えていく。

- 2) 学校保健啓発推進事業委員会

本年は、活動基盤として財政の検討が中心課題となろう。

6. 学校保健関係図書の出版

前記の動向の外、センター事業の各委員会の成果

を出版していく。

7. 本会が後援する地域・職域の諸大会

大会名	期 日	場 所
第50回十三大都市学校保健協議会	5/16・17	東京都
第21回近畿学校保健連絡協議会	7/8	奈良県
平成11年度全国健康教育研究協議会	7/12～14	東京都
第34回東北学校保健大会	7/26・27	秋田県
第49回九州地区学校保健研究協議大会	8/9・10	宮崎県
第45回中国地区学校保健協議大会	8/19・20	広島県
第13回四国学校保健大会	8/19・20	高知県
第50回関東甲信越静学校保健大会	8/26・27	茨城県
第63回全国学校歯科保健研究大会	9/30・10/1	札幌市
第43回北陸三県学校保健研究協議会	10/14・15	石川県
第48回北海道学校保健研究会	10/24	帯広市
第20回東海ブロック学校保健研究大会	11/25	三重県

8. その他、学校保健関係の優良図書及び物品の推薦、学校保健の功労者の顕彰が行われる

II 学校保健センター事業

本事業は、その研究成果を広く浸透させていく普及指導と、学校保健の現今の課題の本質を調査し、その解決の方途を調べる調査研究、及びそれ等より得た手法を実施に移していく健康増進の三部門によって推進されていく。全体の企画運営は、本会の専務理事を中心に会長委嘱の委員で構成する企画運営委員会が担当する。本年度の本事業の委託費は約1億8千万円となっている。また、これとは別に、本年度より新たに学校保健調査研究として、薬物乱用防止教育に関して、約1億4千万円の委託がなされた。

1. 普及指導事業

1) 普及指導委員会

- 本事業の年次報告書の編集、センター事業報告会の企画を実施する。
- 本事業の成果を出版物として刊行すると共に関係者に提供する。
- 学校保健情報センターとしての機能を充実するため、情報の収集と整理。
- 各職域の行事の後援及び助成

開催名	期 日	場 所
薬物乱用防止教育シンポジウム	6/23	イイノホール
保健室相談活動中央研修会	6/28～7/1	青少年センター
平成11年度全国養護教諭研究大会	7/28・29	神奈川県
第42回全国学校保健主事協議大会	8/9・10	広島県
第46回全国薬剤師講習会	10/14・15	岡山県
養護教諭中央研修会	11/8～12	青少年センター
平成11年度学校保健講習会	1/29	日本医師会

2) 海外委員会

委員長 詫間晋平

- 海外の学校保健情報を収集する。
- 海外情報ニュース（年2回）刊行し諸関係団体、機関に配布する。

2. 調査研究事業

現時点で、学校保健上の課題について、学識及び教育現場で活躍されている方々にお集りいただき、問題の解明と解決の方途を求める事業で、本年度は次の委員会が用意されている。

1) 保健学習推進委員会

和唐正勝 委員長

従来行ってきた保健の「課題学習」の実験等をまとめて、本年始めに冊子をまとめる。また、今年度委員会を再構築して、新学習要領に示された「総合的な学習」について検討を加え、実施年までにその指針となり得る冊子を作成する。

2) 喫煙・飲酒・薬物乱用防止指導研究委員会

高石昌弘 委員長

従来の事業に加えて、新たに委託された「薬物乱用防止教育の調査研究」と共に、本委員会に、薬物乱用防止の、①パンフレット作成小委、②教育教材作成小委、③ホームページ作成小委を併設して事業を推進する。

3) 児童生徒の保健管理に関する調査研究委員会

大国真彦 委員長

心電図、尿の検査は全国的に定着したが実施方法は全国で様々な形態があるので、その実際を全地域にわたり調査する。

また、近年その増加しているといわれる心因性の難聴・視力障害に関する小委員会を併設して、その実態を調査すると共に、健康診断及び事後の指導について、指針を検討する。

①心因性難聴小委員会（平成10年発足）

古賀慶次郎 委員長

②心因性視力障害小委員会（本年発足）

委員長は未定



4) 保健主事資質向上委員会

吉田 瑩一郎 委員長

保体審の指摘もあるように、今後の学校保健の推進には、学校、家庭、地域の協力が必要であり、その基地として学校保健委員会の活性化が強く求められている。先進地区の事例を検討し、学校保健委員会の持ち方の手引きを中心として冊子を発刊する。

5) 心の健康問題への対応の在り方に関する調査研究委員会

花田雅憲 委員長

子どもの発達レベルを中心に、心の健康問題を検討して、誤りない対応のため、「心の健康問題への対応」(仮題) 80ページの冊子を発刊する。

6) 学校給食の保健管理に関する調査研究委員会

樋上 忍 委員長

給食の実際は、自校方式、グループ方式、センター方式と様々であり、その保健管理にも一長一短がある。その実状を把握するため、本年はアンケート調査を予定する。

7) 環境衛生推進委員会 (本年度発足)

主題は未定であるが、保健室整備、空教室の善用、消毒薬等々が考えられている。

また、別途委託で、内分泌攪乱物質情報提供小委員会が併置される。

3. 健康増進事業

本会の調査研究で実践方途の定ったものを、加盟の各学校保健会等に委嘱して実施に移していく事業である。

1) 養護教諭実技講習事業

養護教諭の実技の向上を目指して、中央研修会を神奈川県、各ブロック研修会を宮城県、埼玉県、長野県、京都府、徳島県、長崎県の各学校保健会に委託する。

2) 養護教諭研修事業

保健室の相談活動を推進するために、保健室相談活動中央研修会の外、47都道府県学校保健会に講習会の開催を委託する。

○養護教諭研修事業推進委員会

高石昌弘 委員長

最近の諸審議委員会の学校保健に関する答申をふまえて、今求められている養護教諭の資質について、研修の在り方への提言、また現場での参考になる実践事例集の発刊を検討する。その前提としてアンケート調査を施行する。

3) 児童生徒等歯・口健康づくり推進事業

本事業は3ヶ年の委託で、群馬県、千葉県、山梨県、福井県、奈良県、鳥取県、島根県、長崎県の8学校保健会に委託されている。

○歯・口の健康づくり推進委員会

安井利一 委員長

上記事業の委託学校保健会と2回の連絡会議を予定して、事業計画の策定、実施を支援していく。

4) エイズ教育調査研究事業

○エイズ教育調査研究委員会

平山宗宏 委員長

中学生用、高校生用パンフレット等について必要な改訂を行って発行する。

○エイズ教育情報ネットワーク小委員会

吉田勝美 委員長

前年度に本会のホームページを開いたので、エイズ教育の従来のネットワークをこれに移行、本年は内容の更新、データベースの拡充、また新指導要領に伴う教材情報の追加を図っていく。

5) 児童生徒の健康状態サーベイランス事業

平山宗宏 委員長

本事業は平成3年に委員会を構成して、平成4年より開始された継続事業で、本年も調査内容を検討して必要改訂を行って、実施していく。

4. その他の事業

本年度より学校保健センター事業と別枠で本会に委託された事業である。

1) 薬物乱用防止教育の調査研究

①薬物乱用防止教育シンポジウムの開催

6月23日(水) 10時~16時

千代田区 イイノホール

②薬物乱用防止教育教材の作成

- ・小学生用ビデオ、紙芝居、ポスター作成
- ・薬物乱用防止教育パンフレット作成 中学生用及び高校生用

③薬物乱用防止教育等に関するホームページの作成

2) 降灰地域等学校保健事業

本年度より、特殊背景を持つ地域の児童生徒の健康事業として、当会を通して下記の委託が行われることとなった。

- ・降灰地域保健事業 (鹿児島市教育委員会)
- ・震災後地域保健事業 (神戸市教育委員会)
- ・O-157流行後地域保健事業 (堺市教育委員会)

(文責 前専務理事 青木宣昭)

平成11年度(財)日本学校保健会編図書一覧

書 名	定 価	内 容
1 学校保健の動向	2,760円	わが国学校保健の動向を収録。
2 高等学校 保健指導の手引き	1,896円	ホームルーム担任を中心とした保健指導の手引き。
3 第2版 腎 臓 手 帳	* 350円	腎疾患の早期発見と早期治療、正しい管理指導の手帳として活用できる。
4 第2版 学校心臓検診の実際 -スクリーニングから管理まで-	1,100円 *	心臓検診の実際、精密検査等児童生徒の心臓病管理指導書。
5 第2版 心 臓 手 帳	350円 *	心臓病の症状を正しく理解し、それに応じた生活の仕方や、主治医・家庭・学校との連絡に。
6 新版 知っておきたい脊柱側彎症 -脊柱検診のしおり-	700円 *	脊柱側彎症の原因、早期発見とその治療。
7 糖 尿 病 手 帳	250円 *	尿糖検査をどのように進めたらよいか、糖尿病とはどんな病気か、学校でどう指導すればよいか、などについて正しい知識の普及を図る。
8 学校における糖尿病の管理指導 -小児糖尿病の手引-	1,100円 *	学校現場において、糖尿病に対して行う適切な指導と助言の平易な手引き。
9 改訂 学校検尿のすべて	*1,300円	集団検尿の実際、検診、管理と治療等を具体的に解説。
10 新訂 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引 (中学校編)	1,631円	思春期の生徒の特徴を考え、喫煙・飲酒・薬物乱用について、健康への害を科学的にとらえた指導の手引。
11 新訂 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引 (高等学校編)	2,039円	喫煙・飲酒・薬物乱用に関する指導例、指導方法を中心に、最近の知見を盛り込んだ指導の手引。
12 みんなでいきるために -エイズ教育参考資料-	1,050円	エイズに関する指導の機会及び進め方、指導計画作成上の留意点、指導の展開例等、最新情報にもとづいたエイズ教育参考資料。
13 小学校 保健の授業の改善をめざして	2,345円	実際に行われた保健の授業を再現し、わかりやすく解説。
14 児童生徒の健康診断マニュアル	2,039円	学校保健施行規則の一部改正に伴い、健康診断の実施、健康相談の活動を円滑に行うためのマニュアル。
15 保 健 主 事 の 手 引	1,575円	保健主事が積極的に、その役割を果たせるよう、保健主事の職務について整理し体系化した手引。
16 新訂 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引 (小学校編)	2,100円	児童の発達段階を考慮しライフスキル教育の手法を取り入れ各教科ごとに展開例を示した指導の手引。
17 薬物乱用防止に関する指導=指導資料=(中学校編)	1,260円	薬物乱用防止に関する指導の展開例や指導方法などわかりやすく解説した指導資料。
18 薬物乱用防止に関する指導=指導資料=(高等学校編)	1,260円	薬物乱用防止に関する指導の展開例など、基礎的情報や資料を豊富に提示した指導資料。
19 健康的で快適な学校環境を目指して	2,835円	「学校環境衛生の基準」について解説するとともに、その基本的な進め方を中心にした解説書。
20 学校生活におけるアトピー性皮膚炎 Q & A	700円	アトピー性皮膚炎についての概念、病因、事例、対策等をQ&A形式で記述し、アトピー性皮膚炎を持つ児童生徒が教育の過程で不利益を被らないためには、学校内でどのような対策をとる必要があるのか情報提供を目的とした。
21 ゆたかな身体と心を育むための 「望ましい生活習慣づくり」	700円	将来、健康障害の大きな原因となるであろう「生活習慣」について、子どもたちのそれは日常どうあることが望ましいか等について記述。
22 学校における水泳プールの保健衛生管理	800円	水泳プールの衛生管理についてのノウハウを分かりやすく解説。
23 学校において予防すべき伝染病の解説 (医療関係者用)	400円	学校で予防すべき伝染病等について、医学的見地かつ教育的見地から指導・助言等を円滑に実施することが出来るように解説したもの。
24 学校において予防すべき伝染病の解説 (学校関係者用)	400円	学校で予防すべき伝染病等について、医学的見地かつ教育的見地から指導・助言等を円滑に実施することが出来るように学校関係者がわかるようにやさしく解説したもの。

◎ 定価(本体)に消費税5%が加算されています。*印は外税です。

※割引・送料について(定価1,000円以上の図書)

1～4冊 定価+送料

5～9冊 定価(本体)の10%引き、送料無料

10冊以上 定価(本体)の20%引き、送料無料

・図書の申し込みは、本会あて、ハガキかFAXでお願い致します。

平成11年度(財)日本学校保健会しおり一覧

	し お り 名	定 価	内 容
1	児童生徒の眼の健康のしおり	90円	視力の知識等を適切にまとめたしおり。視力に関する指導等で役立ちます。
2	生活習慣からみた児童生徒の健康づくりのポイント	65円	気をつけましょう(肥満、やせ、高血圧、高脂血症、動脈硬化、糖尿病の病理学的因子)食生活のみだれ、健康づくりのための望ましい食生活・栄養ワ ンポイント・運動・睡眠・ダイエットの注意等。
3	腎疾患児 管理指導のしおり(学校・学校医用)	55円	尿異常の子どもをどう受け止めるか。暫定診断の目的。腎臓病管理指導表の 見方。腎臓病管理指導及び管理区分の目安。管理の実施。
4	心疾患児 管理指導のしおり(学校・学校医用)	55円	E-可とE-禁句分決定の目安、心電図心室肥大判定基準、学校現場のスクリ ニングのオーバーリードに。心臓病管理指導表と活用、不整脈の管理基準等。
5	尿糖検査と糖尿病児 指導のしおり(学校・学校医用)	60円	尿糖検査をどのようにすすめるか、糖尿病とは?(診断法・2つの病型)、 学校での管理・指導の実際、糖尿病管理指導表等。
6	幼児のための 歯の健康づくりのしおり	55円	幼児期の歯、歯の汚れとむし歯、歯により食物、甘いおやつを食べるときの 工夫、歯みがきのポイント等を写真入りで解説。
7	発達段階に即した 歯みがき指導のしおり	50円	歯みがき指導のポイント。小学1年～6年までの発達段階に即した歯のみが き方を写真入りで児童にもわかりやすく解説。歯の健康づくりの豆知識。
8	歯周疾患予防 のしおり	60円	歯を支える仕組み、歯周疾患の原因とその予防、小学校・中学校・高校にお ける指導方法を具体的に写真入りで紹介。
9	中学校エイズ教育教材 エイズを正しく理解しよう	50円	中学校用教育教材として、エイズについての正しい基礎知識を持たせるため の指導に役立つ。
10	骨の健康づくり	100円	骨の健康づくりのための基本的な知識理解及び食事や運動など毎日の生活に についての学校における指導の在り方やその内容について解説。
11	A I D S 正しい理解のために 高校生用エイズ教育教材	55円	若い世代のうちに正しい基礎知識をもち、将来にわたって正しい情報を知 適切に判断できるための高校生用エイズ教材。
12	歯・口の健康づくりをめざして II ー健康診断と保健指導の進め方ー	50円	これからの学校歯科保健の推進にとって重要な課題を具体的にQ&Aの形式 で。指導計画例、実践例も豊富に。
13	自動解析装置を用いた 学校心臓検診の手引	60円	定期健康診断で心電図検査が義務化された心臓検診に自動解析装置やデータ を網羅した検診の手引。
14	歯・口の健康と食べる機能	150円	口腔機能のうち「食べる機能」を取り上げ、歯・口の健康づくりとの関連を 重視して解説した手引。

日本学校保健会は、学校保健に係わる多くの課題を委員会で協議・研究し、具体的な
方策と資料を学校現場に提供する使命を担っています。

学校保健の充実のため、これらの出版物を活用していただければ幸いです。

※ しおりの申し込みは、本会あて、ハガキかFAXでお願い致します。

※ しおりの申し込みは、30部以上10部単位でお願いいたします。

※ 梱包送料は、実費請求致します。

〒 105-0001

東京都港区虎ノ門1-2-20 第19森ビル8階

財団法人 日本学校保健会

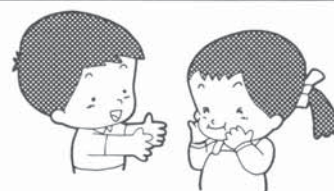
電話 03-3501-3785・0968

FAX 03-3592-3898

育ちざかりのひと粒!

目・歯・骨を大切に……

ゼリー状ドロップ剤



カワイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社

東京都中野区中野6-3-5



学童の集団検尿に、 エームス尿検査試験紙。

エームス尿検査試験紙

ネフロスティックス-L

体外診断用医薬品

バイエル・三共株式会社

東京都中央区築地6丁目19番20号

販売元:

三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号

〒103-8426

☎ (03) 5255-7111

JU1694-S

いつも暮らしの中に
LION

食べたらみがこう!

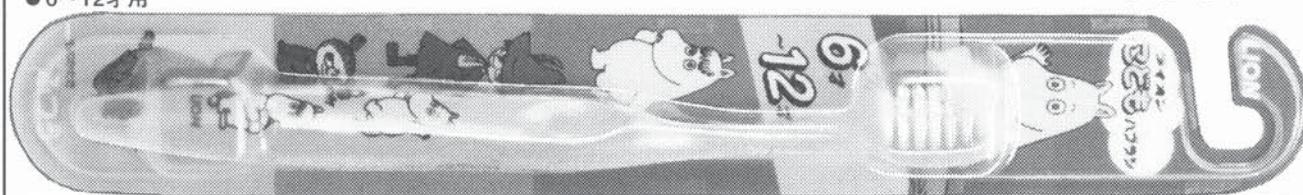
食べたらしっかり歯をみがいて、ムシ歯を防ぎましょう。

●6~12才用

推薦

日本学校保健会

ライオン
こども
ハブラシ



目にやさしい、手間いらずの安心管理

プール用殺菌・消毒剤

ネオクロール

特長

1. 持続性タイプと速効性タイプの2種類の消毒剤があります。
2. 速効性タイプのネオクロール・ニュー・S、ネオクロール・T-20Sは
プールへ直接投入しても脱色のおそれはほとんどありません。
3. 包装単位も小さく、持ち運びが容易です。



四国化成工業株式会社

東京 03-5640-4113 大阪 06-6282-1441

様々なプール環境に対応する



多才な商品をご用意しています